

Weekly Report

ROTARY CLUB OF KONAN

2022-23



創立 / 1965年6月25日
 例会日 / 毎週木曜日 PM12:30~
 会場 / 江南商工会館1F 大ホール
 江南市古知野町小金1-12
 0587-54-8132

事務局 / 江南商工会館 別館1F
 TEL / 0587-55-6554
 FAX / 0587-59-7720
 URL / <http://www.konan-rc.com/>
 Mail / kouanrnc@beach.ocn.ne.jp
 会長 / 富永典夫 幹事 / 岩田進市 会報委員長 / 北畑祐三



2023年(令和5年) 5月25日(木) 晴れ 第2762回(当年度第31回)例会

点鐘
 司会
 ロータリーソング
 4つのテスト唱和

会長 富永 典夫君
 SAA 片平 博己君
 「我等の生業」
 内田 吉信君

— 言行はこれに照らしてから —

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

会長挨拶



会長 富永 典夫君

先週の親睦家族会には、多くの方に参加して頂きまして誠にありがとうございました。当日は天気にも恵まれゴルフ組も観光組も爽やかな気分で楽しまれたかと思えます。前回の例会でも話しましたが、今月は青少年奉仕月間です。「子ども基本法」が先月、施行されました。子ども本位の政策を作るよう定めています。基本法で大事なべき考え方として最初に掲げられたのは、すべての子どもが大切にされ、人権を守られることです。子どもが意見を言う機会を確保することも求めています。貧困の影響が深刻化し貧困が子どもの生活や学びの機会を侵害しており、コロナ禍や物価高騰が拍車をかけ、親も追い詰められております。自殺、いじめ、虐待件数は過去最多を更新しました。5月5日の毎日新聞の社説には以下のようなこ

とが書かれておりました。きょうは「こどもの日」です。すべての子どもが自分らしく、幸せになることを願う日です。すべての子どもが大切にされ、人権を守られることです。子どもが意見を言う機会を確保することも求めています。子どもの小さな声が大人に届かないこともあります。深刻なのは、助けを求めていたにも関わらず、家庭での虐待、学校でのいじめや体罰で、貴い(とうい)命が失われる痛ましい事件も起きています。大人にとっては小さなことに思える内容でも、子どもの訴えにじっくりと耳を傾け、どうしたらいいのか一緒に考えることが大事です。そうした関わりの積み重ねによって、自ら声をあげられるようになることを願っています。大人が良きパートナーとして、子どもたちの心の声を聞き、しっかりと受け止めていく必要があります。と書かれておりました。子どもが話しやすい雰囲気をつくり、話を途中で遮らずに終わりまで聞く。言うのはやさしいが、大人が実践するのは難しいのですが、この人なら話してもいいと子どもに思ってもらえる大人でありたいと思います。

ゲスト及びビジター紹介



KDBオールスターズ 後藤 克徳様
 ようこそ江南ロータリークラブへ！

永年在籍表彰



在籍20年 浅野 安郎君

卓 話



次年度 SAA 濱島 聡一郎君

次年度 SAA を拝命いたしました濱島です。4月9日の地区研修・協議会に出席しましたのでご報告させていただきます。はじめに午前の本会議を聴講した後に、午後からの第二分科会に出席しました。第二分科会では「クラブが中心！～クラブ奉仕の重要性について～」のテーマに沿って研修が行われました。こちらの分科会では国際ロータリー2800地区、山形寒河江ロータリークラブの鈴木一作パストガバナーの講演がメインであり、クラブ奉仕の根本的な考え方についての説明から、いかにクラブの中でクラブ奉仕の考えを会員に浸透させ、実りあるクラブ活動を推進していくかの熱のこもったお話をいただきました。終始、鈴木パストガバナーが言われていた言葉として「例会は親睦と学びの場」というフレーズがありましたが、私はこの「親睦と学びの場」をいかに形成するかを目標として次年度の SAA を務めさせていただきたいと思いません。鈴木パストガバナーが「親睦と学び」について大変分かりやすくお話をされていたのが、立派なロータリアンを一本の木に例えて、木が大きく成長することで様々な奉仕活動が活発になり、結果的にクラブの成長も期待できるようになります。ロータリアンである一本の木が大きく成長するために必要な養分を送り届ける土壌こそが親睦であります。その最も基本的なこととして、会員同士の交流を活発にすることが親睦の基礎を作り、例会への興味や出席意欲を高めるきっかけを生み出します。ただ例会に出席して誰とも会話もせず、食事をとって帰るだけではだめなのです。孤立しそうなメンバーに積極的に声をかけることも大切な親睦に繋がります。そして活気のあるクラブでは、メンバー相互から奉仕の心を学び、理解し、実践の意欲を高めあう場こそが例会であるという共通認識が醸成される好循環が形成されていきます。我々江南ロータリークラブにおいても、会員が例会場に顔を出して与えられた職務を淡々と果たすだけでなく、できる限りメンバーとの交流を深められるかが、アフターコロナのクラブの成長においては重要な要素になると思われます。かつてのように表情を隠していたマスクを外し、自由に会話を楽しむことこそがロータリークラブの例会の醍醐味であり、次年度の富田会長の求める、楽しくあたたかく活気のあるクラブの形成に通じる部分でもあります。クラブ奉仕の理念を平易な

出席報告

会員数	出席者数	欠席者数	出席率
48名	34名	14名	77.27%

ニコボックス

○地区研修・協議会報告！よろしくお願い致します。
KDBオールスターズ後藤克徳様、ようこそ江南ロータリークラブへ！

富永 典夫、南村 朋幸、岩田 進市、駒田 洋平各君
○地区協議会の報告をさせていただきます。

森 弘好君

○波多野さん、先日の親睦旅行ではお世話になりました。ありがとうございました。

倉知 正憲君

○本日、地区研修・協議会の報告をさせていただきます。よろしくお願い致します。

長瀬 晴義君

○今年度もトリプルの祝福ありがとうございます。

加藤 義晴君

○本日、地区研修・協議会の報告をさせていただきます。よろしくお願ひいたします。

濱島 聡一郎君

○無事に還暦を終わることができました。ありがとうございます。61才も頑張ってお参ります。

早川 一三君

○本日、地区研修・協議会、発表させていただきます。

北畑 祐二君

OR. I. D2760 2022-23年度

地区研修・協議会報告！宜しくお願い致します。
KDB オールスターズ 後藤克徳様
ようこそ、江南ロータリークラブへ！
松岡 一成、庄田 元久、沢田 昌久、岩田 静夫
波多野 智章、中村 耕司、富田 清孝 各君

表現にしますと、「クラブは会員のために、会員はクラブのために」という一言に尽きます。私自身、未だに若輩者の立場で恐縮ですが、今一度会員の皆さまに新鮮な気持ちや柔軟な考えで例会に参加していただき、親睦と学びを深めていただける場になりますよう、今回の研修で学んだことをもとに、しっかりと計画を練っていききたいと思います。



次年度 クラブ管理運営常任委員長 森 弘好君

私は第二分科会に参加してきました。テーマは「クラブが中心(クラブ奉仕の重要性について)」です。講師はRI第2800地区PDG元RI研修リーダーの鈴木一作さんで熱心な、わかりやすいお話でした。先ず、ロータリーとは親睦と学びを基盤に立派なロータリアンを育てながら価値ある奉仕を通じて社会に貢献する世界的な団体であるとうことを言われました。ロータリークラブの姿とは親睦と学びの場である例会に必ず出席し、本来なら出会えない異業種の会員がロータリーの志を共にする仲間となって睦み集う「親睦の喜び」。仕事やロータリアンとしての在り方を「学ぶ喜び」。あらゆる機会社会に貢献する「奉仕の喜び」そして、それらを楽しみと思う「純真な」心と、自らを「我、道義の職業人たらん」と律し、少しでも立派な人間でありたいと願う「自尊心」を持ち活動することが、成功や飛躍の「チャンス」に繋がり、素晴らしい「感動」を味わうことが出来るのでロータリーは人生を豊かにするものとなる。「ロータリーの親睦」とは、ロータリーと言う苗木が成長するようその根に栄養を与える土壌である。「ロータリーの親睦」Fellowshipの目的はロータリーの成長、発展と志が同じもの同士の仲間意識を示すものであり、Friendshipのように目的や理念に関係なく親しい者同士の友情を表すのとは一線を画す。クラブ奉仕とは、会員がクラブに奉仕(義務)、クラブ(クラブリーダー)が会員に奉仕(責務)することである。クラブ会員としてのロータリアンの義務クラブ例会に必ず出席し、会員同士が積極的に交流する。親睦と学びであり、例会場や懇親会での交流、会員スピーチ、クラブフォーラムを通して敬愛、信頼、経営のヒントを得、職業観、人生観、ロータリー観、奉仕の意欲、喜び、満足感と誇りを持ち、飛躍の機会としてとらえる。個人としての活動は、ロータリーが説く高い「倫理基準」と「奉仕理念」を自分の事業で実践することあり「職業人としてそれがロータリアンの義務」である。ロ

ータークラブの責務クラブリーダーは、魅力的で価値あるクラブ運営をし、年間スケジュールを検討しRI年度テーマや、地区目標、クラブ目標が十分に反映されている例会内容となっているか。皆が知恵と汗を出しクラブ一体感に満ちた奉仕プロジェクトであるか。休会も意味のあるものとなっているかも大切にしたい。(年末年始、盆休み、祝日以外の休会)。クラブリーダーの矜持魅力的で価値ある例会。魅力的で価値ある奉仕プロジェクト。クラブ会長はクラブの代表であり、最高責任者である。クラブ幹事はクラブの実務責任者。他の役員は会長、幹事の絶対的な支援者である。会長の覚悟とリーダーシップ、幹事のひたむきな努力と気配り、クラブとしての一体感、新入会員やゲストを含め誰もが疎外感を感じない配慮、魅力的で解りやすいロータリー研修、感動的な会長挨拶など、クラブ運営の要となる。以上のように話され感じたことは、とにかく例会に出席し親睦の輪に加わることが大切だと改めて思いました。



次年度 奉仕プロジェクト常任委員長 長瀬 晴義君

地区研修・協議会、地区職業奉仕委員会、第5分科会に出席しましたので報告させていただきます。テーマ:育もう!「職業奉仕ブランド」~四つのテストで継続的改善~次期地区役員、職業奉仕委員会メンバーの自己紹介後、ロータリーの基本理念である、四つテストに照らし合わせた会社案内という内容で、鬼頭職業奉仕委員長より、貴方の会社に社是

- ・社訓は有りますか?という問いから始まりました。社是・社訓に現れる企業スタンス
- ・社長のモットー、「四つのテスト」に通じるロータリアンとしての奉仕の理念、総ての仕事・職業はすべての人々を幸せにする為にある。ビジネスはすべての社会に尽くす手段でなければならない、高い次元での会社経営と姿勢が問われる。

*経営理念の意味や定義とは
「なぜその企業が存在するのか」
「何のために経営をするのか」
内に対しては意識を統一、外に対してはブランドイメージ

*経営理念を明文化する目的は

- ・経営の軸
- ・価値観を統一

- ・責任感
- *良い経営理念とはなにか
- ・中身がしっかりしていること
- ・自社の経営に適合されていること
- ・わかりやすさ
- ・一貫性が保たれていること・成長性を示唆していること
- ・社会に貢献するものであること
- ・理念から戦略のヒントがあること*経営理念を浸透させるメリットと重要性
- ・自分の向かう方向性をはっきりさせる
- ・社員の意識、価値観などが統一されることで一体感が生じる
- ・自社に適した人材を採用することができる
- ・会社の存在意義を公言することで企業の認知度を高めることができる
- ・組織風土や企業文化の形成が期待できると説明された後、鬼頭委員長、加藤副委員長の四つのテストに照らし合わせた会社案内が発表され最後に
- ・四つのテストに照らし合わせてみて更にインパクトのある活動ができると感じました。
- ・弊社のブランド力を上げる方法に四つのテストは必要不可欠であることに改めて気づきました。
- ・やっぱり、四つのテストで継続的改善とまとめあげられました。以上で、報告とさせていただきます。



次年度 青少年奉仕委員長 北畑 祐二君

次年度、青少年奉仕委員会委員長を仰せつかりました、北畑祐二です。4月9日に行われました、地区研修・協議会の第7分科会にて「プライドを持ってリーダーを育てよう」～青少年の未来へ～のテーマのもと研修をうけてきました。会報以外の初めての委員会になりますが当日は地区の役員の方が順番に説明をしておりましたが意味の分からない専門用語が多すぎて何が何だかよく分からず研修を終えてしまいました。しかし後日、委員長より当日の資料データを送って頂きましたのでここではこの内容を載せさせていただきます。僕の理解が違っているようでしたら今後ご指導頂けると助かります。

①インターアクトクラブとは奉仕の国際理解に貢献する青少年のための、ロータリークラブ(RC)提唱の世界的団体で、中学・高校に在学中の生徒、または年齢12～18歳までの青少年が入会できます。ロータリ

一の奉仕の中で、最も顕著かつ急速に発展している奉仕プログラムの1つです。ロータリークラブの支援を受けて設立されるインターアクトクラブでは、友達と一緒に楽しみながらロータリーの『超私の奉仕』を学び、行動力を身に着けます。当地区には19のインターアクトクラブがあります。2月末現在、総勢413名のインターアクターが、日々活発にボランティア活動をしています。インターアクトクラブは少なくとも2つの奉仕プロジェクトを行います。ひとつは社会奉仕プロジェクトです。もう一つは国際理解と親善を推進するプロジェクトです。プロジェクトを通じ、インターアクターは地元社会や海外クラブとの友情ネットワークを築いていきます。

②ローターアクトについて近年のローターアクトは、変化の時を迎えようとしています。この変化に対応するためには新しいローターアクトとしての形を作っていくことが必要だと考えています。各クラブが自立した奉仕活動、ロータリーと共にする活動を増やしていける環境をつくれるような1年にしていきたいと思います。また、地区全体で見たとき会員が増加傾向にあります。会員同士が積極的に交流でき、仲を深め、今後のローターアクトに繋がるような活動をしていきたいと思います。新しいローターアクトになるように頑張りましょう！

③RYLAとは(Rotary Youth Leadership Awards)リーダーシップを発揮したい、自分の可能性を広げたい、世界を変えたい……そんな考えを実現するための第一歩となるのが、「ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)です。このプログラムで、若い人たちが新しい友人をつくり、楽しみながらリーダーシップ・スキルを磨きます。地元で活躍する人や豊かな経験を持つ人たちと一緒にコミュニケーションや問題解決のスキルを磨く。学校や地元地域で活躍できるリーダーとなる方法を発見する。地元を動かすリーダーによる指導、意欲を高める講演。仲間との交流を通じた学び、自分の可能性を発見し、行動へとつなげる。楽しみながら、生涯続く友情を培う。委員会の役割としては若い人々が考える環境を提供すること。カウンセラーとしてヤングカウンセラー(RYLA 学友会)と共にセミナーを進めますが、決して私たちの考えを押しつけない、結論を導き出すことはしません。ロータリアンにできることは何ものをも求めず、ひたすら未来のために種を蒔くこと。RYLAセミナーで蒔いた種が若者たちの心にいつか芽生えるかもしれない。例え芽が出なくても、結果を求めず、ただひたすらに種を蒔き続け、そして、未来に夢を託す。

④青少年交換について(Rotary Youth Exchange)ロータリー青少年交換は、青少年を通じ世界を平和にしていけます。国境を越えた友情と信頼を築く機会を与え、異文化を受け入れ世界をひとつにすることに少しずつ近づけるプログラムです。世界中の交換留学生たちが、今も異国の地で友情と絆を結ぶ為に活動しています。ロータリー青少年交換ができること。自分で考え、率先して行動する力を育む異文化や外国語にふれる海外の人たちと交流し仲間を増やす世界中で会った人たちと永続的な友情を築くグローバルな視点を持てる生涯にわたるリーダーシップを養う各国の素晴らしさを知

る ROTEX に見守られた安心安全な研修期待と不安家族が増えるもうひとつのクラスメートもうひとつの帰る場所親善大使お互いの文化を知りお別れLet's STARTとなるのです。

点 鐘

会長 富永 典夫君

趣味の部屋



南村 朋幸君 と 後藤 克徳様

趣味で活動をしているKDBオールスターズのメンバー後藤様にも来てもらいギターの弾き方などをメンバーに教えて頂きました。ギターが弾けるとカッコよくみえますよね。



本日の食事

大変申し訳ありません、今回は写真を撮るのを忘れてしまいました・・・。

新会員歓迎会

6月1日(木) THE KAWABUN NAGOYA 2F 葵の間にて新会員歓迎会が行われました。猪子委員長の設営による豪華な食事でした。



司会進行の猪子 明君



会長挨拶 富永 典夫君



乾杯のご発声は堀尾 庄一君



新会員の内田 吉信君夫妻



新会員の田中 健君



テーブル毎のメンバーです



締めのご挨拶は森 弘好君



テーブル毎のメンバーです



最後は全員揃っての集合写真です



テーブル毎のメンバーです



テーブル毎のメンバーです

会報掲示板



My ROTARYの登録はこちら
※初めての方は
アカウントを作成してください。
※アカウントがある方は
ログインをご覧ください。



ROTARY 2760
アプリダウンロードはこちら

写真等がございましたら会報までお知らせください
(担当 早川 一三・山崎 博征)